

議長定例記者会見（H28.10.11）

（報告）

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

まず、初めに、9月定例会採決結果について御報告いたします。

知事提出議案46件のうち平成28年度青森県一般会計補正予算案を含む議案22件を可決・同意し、決算案を含む5件を継続審査とし、報告のみが19件ありました。

議員発議案については、2件が可決となり、4件が否決となりました。

議員派遣については、海外派遣2件・国内派遣4件が可決されました。

次に、使用済燃料再処理機構の設立及び県内原子力施設の新規制基準への対応等について、申し上げます。

9月9日に電源開発株式会社から大間原子力発電所の工事開始時期及び工事終了時期の見直しについての報告が、同月14日にリサイクル燃料貯蔵株式会社から使用済燃料貯蔵施設の事業開始時期の変更についての報告が、それぞれありました。

また、同日、執行部から使用済燃料再処理機構の設立及び県内原子力施設の新規制基準への対応について、議会に対し説明させてほしいとの要請をいただきました。

本職としても、原子力施設の審査の状況等について、議会として、事業者から直接説明を聞く必要があると考え、9月21日に議員説明会を開催し、先日の10月7日には、原子力・エネルギー対策特別委員会を開催し、議員説明会での説明に対する質疑を行ったところでございます。

余談となりますが、先のリオオリンピックで、本県出身の伊調馨選手と太田忍選手が、レスリング競技でそれぞれ金メダル・銀メダルを獲得し、凱旋帰国をいたしました。

特に伊調馨選手は、女子個人種目でオリンピック史上初めて4連覇の偉業をなし遂げ、皆さん御承知のとおり、10月20日に内閣総理大臣から国民栄誉賞を授与されることになっております。

これもひとえにマスコミの皆様方、そして県民挙げての支援があったからこそ、このような偉業をなし遂げられたのではないのかなと思っております。

残念ながら吉田沙保里選手は、金メダルを獲得することはできず、銀メダルとなった訳ですが、持ち前の元気さで、東京オリンピックに向けて頑張っていくということを言っていたと聞いております。

吉田選手については、青森県に縁がないように思われますが、実は非常に縁があるのです。

お父さんが八戸市出身であり、私より2つ歳下です。

今は、八戸工大一高となっておりますが、当時の八戸電波工業高校のレスリング部の選手としてインターハイで2連覇しました。

その子供さんが吉田沙保里選手ということですよ。

今回、銀メダルだったのですが、伊調馨選手に劣らない活躍だったのではないのかなと思っております。

ありがとうございました。

○ 記者

議員の政務活動費をめぐって、現在全国各地で住民訴訟が提起されており、一部の議員が不適正支出を認めて辞職するなど大変な問題となっておりますが、その政務活動費の運用の仕方、今後の制度のあり方についてどのように考えているのか伺いたい。

○ 議長

政務活動費については、富山市議会を初めとして不適正支出が問題となっておりますが、本県議会では、平成27年度から収支報告書、支出証明書及び領収書等の写し集計表をホームページに掲載し、また、今年度交付分の政務活動費から政務活動実績報告書、事務所状況報告書等の提出を求め、ホームページに掲載することとして、さらなる透明性の向上に取り組んできたところであります。

こういった中で、他自治体の議員に関することとはいえ、再び、政務活動費の不適正支出が明らかになったことは、非常に残念であります。

○ 記者

政務活動費について伺います。

他県で起こったこととはいえ、またこのような事例があったことに対して、改めて本県議会の中で意識を高め

るために議長のほうから発せられるようなことを何か考えているのか伺います。

○議長

富山市議会の問題を受けて、領収書のネット公開が必要ではないかとの議論がなされていることは承知しています。

本県においては、平成24年度の政務調査費に係る住民監査請求に対する監査結果において、政務活動費の透明性の向上を図るべき旨の意見が付されたことを踏まえ、議会改革検討委員会において政務活動費の透明性向上の方策を検討し、平成27年度から収支報告書、支出証明書及び領収書等の写し集計表をホームページに掲載し、また、今年度交付分の政務活動費から政務活動実績報告書、事務所状況報告書等の提出を求め、ホームページに掲載することとしています。

その検討過程で領収書等の写しのホームページへの掲載についても議論されましたが、枚数が毎年1万枚程度あり、事務量が増大すること等を考慮して、掲載対象から外したものの、支出年月日、支出先、支出金額等領収書に記載されている事項を一覧表にした「領収書等の写し集計表」はホームページに掲載しています。

今後とも、政務活動費の適正な運用並びに用途の透明性の確保に努めてまいりたいと思っております。

○記者

領収書のネット公開については、当分検討することはないということでしょうか。

○ 議長

領収書の写しのホームページの掲載については、事務量の増大に伴う負担を踏まえつつ、さまざまな状況を勘案していく必要があるものと考えております。

○ 記者

昨年、議長・副議長が就任され1年数か月が過ぎました。

これまでは、任期4年の中で議長・副議長職を3人交代でやられてきた訳ですが、今後は2年とする方針だと一部の議員の間での了解があったと聞いていたのですが、議長の任期の確認と今後さらに続けていく場合の抱負について伺いたい。

○ 議長

任期は、4年となっているので、4年務めるつもりです。

健康に留意して4年務めるつもりですので、御心配なさらないでいただきたいと思えます。

御承知のとおり、正副議長とも健康体であり、100%力を発揮してまいりたいと思っております。

以上です。